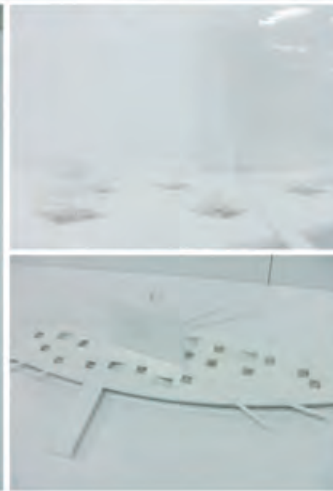
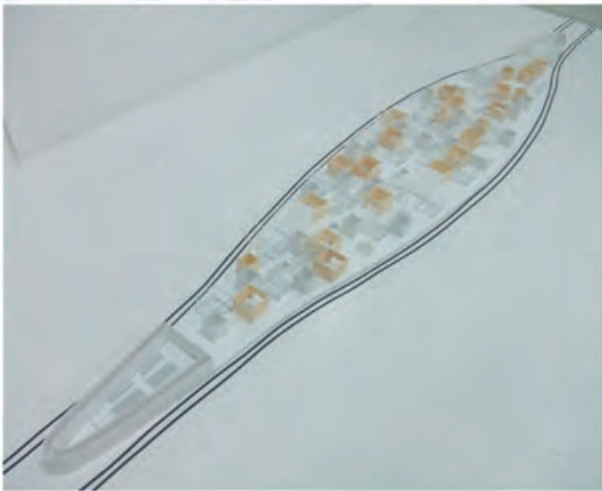


CONCEPT

駅という空間にはいくつもの場面があり、様々な機能が存在する。  
現代に生きる私たちの1つの交通手段として欠かすことは不可能であり、誰もが共有している。

ベッドタウン都市津田沼で、込みあう空間から足の流れ止められるような開放的な空間を・・・  
学生都市津田沼で、地域に根付く若者の活躍を情報発信できるような空間を・・・

ここから新しいコミュニティの形成、活躍の場を提供し、そこに暮らす人たちがそこを利用する人たち、そして都市を巻き込んだ新しい都市型プラットホームを提案する。



PROGRAM

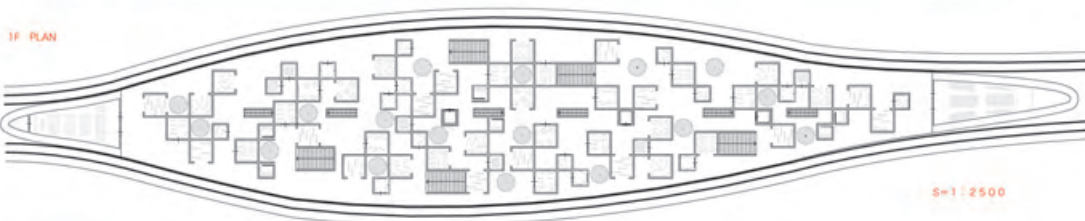
01 LANDMARK TOWER

2F広場に圧倒的な存在感を魅せるのは津田沼の新シンボル・ランドマークタワー。透明度の高いシャープな外観から電車の過ぎ去るスピード感を感じ、未来型ステーションとして、低層に収まる駅でさえも象徴的に示していくような存在である。

02 PLATFORM

現状6線3ホームから6線2ホームシステムへ。  
1Fプラットホームは3ホームを1つにまとめた巨大プラットホームに生活環境、都市的機能を取り込み、9mブースと6mブースが入り組んだ空間となる。  
9mブースは学生の展示スペースとして活用するだけでなく、各商業施設も設けられ、動的なプラットホームに静的な展示ルームが混じり合う。  
待ち時間は新たなコミュニケーションとして学生と社会人、地域と都市を繋ぐ存在となる。  
6mブースは駅の機能、職員室・トイレ・エレベーターなどといったものが設けられる。

1F PLAN



B1 PLAN

